



2025 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社ワコールホールディングス

代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 矢 島 昌 明

(コード番号 3 5 9 1 東証プライム市場)

問 合 せ 先 執行役員 経営企画部長 廣 岡 勝 也

(TEL 0 7 5 - 6 8 2 - 1 0 1 0)

2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想の修正に関するお知らせ

2025 年 5 月 15 日に公表した 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）の連結業績予想に関しまして、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）の連結業績予想の修正

	売上収益	事業利益	営業利益	税引前 中間利益	親会社の所有者 に帰属する 中間利益	基本的 1 株当たり 中間利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	96,000	5,300	22,600	21,600	14,470	280.11
今回修正予想 (B)	87,000	3,000	21,000	20,000	12,000	235.76
増 減 額 (B-A)	△ 9,000	△ 2,300	△ 1,600	△ 1,600	△ 2,470	-
増 減 率 (%)	△ 9.4	△ 43.4	△ 7.1	△ 7.4	△ 17.1	-
(参考) 前中間期実績 (2025 年 3 月期中間期)	90,167	2,304	11,551	12,815	8,773	159.69

2. 修正の理由

売上収益は、主要国におけるレディスインナーウェア等の販売が伸び悩んでいることから計画を下回る見込みです。主要子会社別には、(株)ワコールは高価格帯の商品群は計画を上回って推移しましたが、主力ブランドである「WACOAL (ワコール)」、「Wing (ウイング)」は夏のキャンペーンが計画未達となったほか、大谷翔平選手をプロモーションに起用した「CW-X (シーダブリュー・エックス)」は前年から大きく伸長したものの、計画に対しては未達に終わりました。ワコールインターナショナル (米国) は米国内の小売環境が厳しさを増す中、得意先の仕入抑制の影響も受け、計画を下回りました。中国ワコールはブランド価値訴求施策の一部で効果が出たものの、市況悪化による売上収益の減少を補えず、計画に届きませんでした。ワコールヨーロッパは既に開示※1しております通り、2025 年 6 月 21 日に発生した子会社での物流倉庫における小規模火災の影響を受け、約 2 ヶ月に亘って EC 販売が出荷停止となりました。9 月 1 日の出荷再開後は前年を上回って推移していますが、停止期間における売上収益の落ち込みが響きました。

事業利益は、各子会社が経費削減に努めたほか、一部商品の希望小売価格の改定を行いました。売上収益の減少による事業利益の落ち込みを補うまでには至らない見込みです。

営業利益は、上記火災による商品や什器などの損害及び損害の一部に対する保険金の入金を見込んでいます。

なお、2026年3月期の通期連結業績予想につきましては現在精査中であり、第2四半期（中間期）決算発表時（2025年11月12日予定）に公表を予定しております。

※1 「英国子会社の物流倉庫における小規模火災発生に関するお知らせ」<https://www.wacoalholdings.jp/news/pdf.html?dn=20250627503162>

以 上